

「あたらしい風になる」

校庭の緑鮮やかな芝生を渡るさわやかな風、あたたかくて柔らかい春の日差し、桃井第五小学校に春の舞台が整いました。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。この度、川田忠校長の後任として杉並区立杉並第二小学校から参りました 佐野 篤（さの あつし）と申します。

さて、3年間のコロナ禍にやっと終息が見え始め、4月1日から学校生活において、マスクを外すことが基本となりました。子供たちの表情が良く見えたり、声が聞き取りやすくなったりして、これまで以上に学校が明るくなると感じています。マスク着用の有無については、相手が判断したことを尊重し、差別や偏見が起こらないように配慮していきます。

私は、これまで積み上げてきた桃五小の教育実践を大事にしつつ、**あたらしい風になりたい**と思っています。**キーワードは「やさしさ」と「しあわせ」**です。子供たちが、学校でたくさんの人と関わって、「今日楽しかった。しあわせだった。」と感じられる学校を創りたいのです。

子供たちは、学校で人と関わり多様な考え方があることを知り、それを受け止めることで、自分の中に「やさしさ」が育っていきます。また、自分の考えをもち、人と協力して実行することで、さらに「やさしさ」が育っていきます。**「人は、今よりもやさしくなるために、しあわせになるために学ぶ」**というのが私の教育理念です。みんなで「やさしさ」と「しあわせ」があふれる学校を創っていきましょう。よろしく願いいたします。



令和5年4月6日

杉並区立桃井第五小学校
校長 佐野 篤